

磐城時報

石城郡磐城町新田町十番... 電話掛入人 阿部 弘典

個人經營になる

磐炭の糧食部

土浦町の銀行重役に交渉

内郷村磐城炭礦の上り期營業成浦町銀行重役に交渉中であるが...

農村振興を看板に

實は労働組合の宣傳

驚いた最勝院住職

大浦村の最勝院へ此程農村振興ので之れを見た檀家一同は總代...

石城の造酒減

平稅務署管内五十余の醸造家は藤喜義氏夫々任命された。

狩獵免許をうけた者

石城で二百十名

去る十五日から狩獵解禁となつた河川も未だ水が多いため獲物は...

京染の外交員

七名車座で賭博

銅線泥捕はる

田村郡高野村板橋生れ當時内郷村大字宮の澤電工佐藤義美(二)

一幅僅か十圓で 大家の軸を頒布

東京墨雅會では今回日比谷公園三橋亭に墨竹百幅頒布會を開催...

大東京を經て

東海道路に入る

青森、下關間長途騎乗の 榎田彦之進氏からの通信

青森、下の關間の長途單騎踏破の大壯圖を決定し、過般青森を出...

魚商負傷

小名浜町字定西鮮魚商菊地ナホ(四五)は二十六日午後四時頃泉...

軌道車で

取らたうらんとした際發車したため兩足に重傷を負ふた。

紅葉狩り

在平記者

平郵便局の活動寫眞會

平郵便局主催の簡易保険、郵便年金並に貯金宣傳の活動寫眞會は去る二十五日開催したが、中途にして九はん製作所の火災ありそのまゝ中止したので来る二十九日午後六時から聚樂館に於て再び活動寫眞會を開く事になつた。映畫は前日上映したものは別の映畫に代へる筈である。

開店御披露

和洋御菓子

十月廿二日より廿八日迄の向ふ七日間
開店記念として御来店の御客様に限り左の奉仕
小賣に限り

お買上金高の三割

商品切手提供

平町二丁目(百七銀行前)

永野キヤンデーストア

電話 近日開通

行路病者收容

石川郡植田大字植田安藤惣一(三)四)は二十六日午後十一時半平町植田を歩行中持病の心臓麻痺で倒れたため平町行路病舎に收容した。

讀者と記者欄

(問) 私は昨年ある人の紹介で某から土地と家屋を買入れました、そしてその代金は登記所で名義變更登記の際に支拂ふことを主張しました、買

手は年末に是非金が必要だと懇願して止まないで紹介人を保証人として買渡した證書、代金受領書と正月早々登記するといふ買渡書を受取つて代金を支拂ました、處がその買手某は正月中旬負債を生じ姿をかくし今日に至るまで紹介人と共に所在地をさがせども消息が判明せず、私も登記が出来ず長い期間却してゐます、買渡した證書と代金受領書並に買渡書だけで登記することが出来ませんか、登記がすま

日々増進の御負に酬ゆる

為左記の通り大々的勉強仕候是非御愛顧の程御願申候
期間十一月末日迄
梅 金參圓也 御一人前
松 金五圓也 御一人前
櫻 金七圓也 御二人前
以上現金に限る

寒さには非毛糸

手編用に防寒具用にイヨク需用が激増してまゐりました是非御用命を
平町三丁目
三井呉服店
電話三十八番

藤沼醫院

内科、外科、花柳病科
平町植田屋町
電話五〇七番

磐城病院

内科、外科、婦人科、小兒科、花柳病科
平町植田本通り
電話一四四番

東京の二越來る

平町住吉屋旅館本店に於て十一月五日、六日の二日間(午前八時より午後五時まで)
毎度格別の御引立を蒙り、誠に有難く厚く御禮申上げます。陳者今般上記の通り、呉服、大物及び雜貨等、東京流行の粹を蒐め、陳列販売致します。尚洋服別談の御注文に應じ度熱線なる裁断師を同伴致します

三越呉服店

謝近火御見舞

昨夜近火の際は早速御馳付御見舞を辱ふし奉深謝候に蔭を以て幸ひ類焼を免れ候につき御安心被下度一々參上御禮申述可きの處混雜中御尊名伺洩れも可有之と存じ乍畧儀以書中御厚禮申上候
十月二十六日
極 抛 小 路(いろは順)

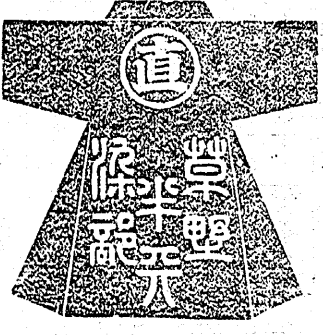
- 色川勝三郎 市原伸二
- 長谷川浩太郎 堀喜一
- 大里金丸 大須賀元助
- 高野彦太郎 草野一郎
- 小林久藏 鷺谷三郎
- 菊地ヤイ 緑川喜三郎
- 門傳清吾 門馬淺次郎
- 瀬尾善之進

神経痛リウマチ

其他皮膚病特效薬
¥1.20 大
¥0.80 小
平町四丁目 小野屋藥店
電話一四四番

靴とかばん

◎御注文は特に勉強
◎既成品も豊富にあります
平町搔抛小路(役場前)
福山靴店



金印 牛天専門
優秀品の証明
草野染工場
磐城平町
電話二四八番

◎簡易の金融一誠意、堅實 ◎趣味の貯蓄一共存と共榮
△絶へず會員を募ります △何時でも御申込下さい
大藏省 免許
磐城無盡商會
本店植田町本丁 支店平町中丁

印刷物
加納活版所
電話 二〇五 九〇四